

## 中学生の「税についての作文」

高田税務署長賞

### 税金に感謝

上越市立城北中学校 二年

遠藤 沙恵

税金はなぜ必要なのか。税金を納めてどこに使われるのか。私は最近まで、税金の大切についてよく理解していませんでした。ですが、税金について沢山調べていくと、私たちの暮らしを支えている、生活必需品のようなものだと感じました。

毎日通っている学校。学校で私たちが使う教材、学校の校舎などに、税金が使われているそうです。税金があるから学べる、その学びを生かして資格がとれる、職に就けるといふことと心に留めて過ごしたいと思います。

小学生の時の夏休み、母の実家に行った時のことです。祖父の部屋に様子を見に行ったら祖父が倒れていました。私はこの光景を今でも鮮明に覚えています。祖父には持病があったため、死んでしまったらどうしよう、と心配になりました。母が救急車を呼び、すぐに消防士の方が駆けつけてきてくれました。おかげで祖父の命が救われ、本当に安心しました。

救急車を呼んだら、お金を払わなければならないという国がありま

す。ですが日本は、税金があることによって救急車を無料で呼ぶことができます。無料で呼べるからといって、軽いけがなどで救急車を呼ぶのはあまりよくないのではないかと私は思います。重傷者など、一人でも多くの命を守るためには、適切に救急車を呼ぶことが大切だと改めて感じました。

決まった日にゴミを出すと、出したゴミをゴミ収集作業員さん達が回収しに来てくれます。このゴミ処理も、税金があることによって成り立っていることを知り、とても驚きました。適切にゴミを分別し、自分の街が美しく保たれるといいなと考えました。

現在日本では、少子高齢化が進んでいることが問題になっています。高齢者が増えると介護などに必要な税金が増えてしまいます。それにともなつて生産年齢人口が減ると、これから税の仕組みは変わっていくと思います。今、私たちができることは、税金についての正しい情報を知り、学ぶことです。そして私たちが大人になった時、子供たちに税金の大切さについて伝えていきたいです。

このように、私たちの暮らしは、税金で支えられているものばかりです。もし税金がなくなったら、今まで当たり前だった生活が当たり前ではなくなるのだろうなと考えました。だから、税金は守り続けるべきです。暮らしを支えてくれている税金に感謝です。